

2026年
町田市議会
第1回定例会

日本共産党
町田市議団

芹ヶ谷公園“芸術の杜”整備工事費がゼロに! 市民とともに再検討へ

—「公園の自然まもれ!」市民運動が市政動かす



4月の芹ヶ谷公園“虹と水の広場”

整備工事費は、2022年度予算では28億5千万円だったのが、24年度は43億8千万円に。さらに、26年度は55億6千万円に倍増しました。近隣住民など市民

市長、芹ヶ谷公園“芸術の杜”事業見直す
稲垣市長は、「当面の施政方針」で、芹ヶ谷公園芸術の杜事業の見直しを表明し、提案した一般会計予算を訂正しました。芹ヶ谷公園「芸術の杜」

市民合意のない「計画」は白紙撤回を要求

整備工事の関連予算を全額削除し、市民の声を聞いた上で「計画」を2年間で再検討することになりました。

町田市議会2026年第1回定例会が、3月9日から30日まで行われました。「イラン戦争」に対して外交による即時停止を求める決議が全会一致で可決。稲垣市長が提案した一般会計予算について、日本共産党は、芹ヶ谷公園芸術の杜関連事業費を削除した予算訂正は評価するが、全体として、大型開発優先と市民負担増の予算であるとして、討論をして反対しました。また、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料値上げの条例と予算に反対しました。

「米国・イスラエルによるイランへの軍事攻撃及び報復の連鎖に対し、外交努力による即時停止を求める決議」を全会一致で可決!

原点に戻り、公園や美術館の在り方再検討を

からくり返し「計画」の見直しを求める請願が出される中、日本共産党は、「計画」の白紙撤回と市民参加による再検討を要求してきました。

芹ヶ谷公園の自然や原風景が壊され、国際版画美術館の版画工房と喫茶店が移動させられること。また、博物館をなくす計画に市民は納得していません。「新しい体験型の公園」という芹ヶ谷公園「芸術の杜」のコンセプトを白紙に戻し、市民や専門家の声を聞いて、芹ヶ谷公園と美術館、博物館の在り方を原点に戻り再検討すべきです。

下水道使用料の値上げは中止を

町田市が3月に策定した『下水道事業プラン26-35』において、下水道使用料の引き上げを計画していることが明らかになりました。町田市は下水道の処理や管理にかかる費用を補填するため一般会計から繰り入れを行っています。繰り入れを年8千万円ずつ削減して、下水道使用料金で賄うようにするため、2027年1月から30年3月の下水道使用料を現行から35%引き上げるために、年度内に条例を改定する計画です。市が示したモデルケースでは、20立方メートルを使う3~4人世帯で年間7,920円の値上げになります。日本共産党市議団は、繰り入れ削減をやめ、国・都の補助増額で下水道料金引き上げを中止するよう求めました。

使用水量	8立方メートル 単身世帯	20立方メートル 3~4人世帯
モデルケース		
現行	6,720円	22,560円
改定後	11,760円	30,480円
値上げ額	5,040円増	7,920円増

(年額、税抜き)

国民健康保険税が 9年連続値上げに!

健康福祉常任委員会で「国保税値上げを行わないことを求める請願」と値上げ条例・予算の審議が行われました。国保税の値上げは9年連続!しかも国の改悪で、子ども・子育て支援金が健康保険から徴収されることでさらに負担増になり、モデル世帯で年間2万3100円の値上がりになります。質疑で、以前多摩26市で低いほうだった町田の国保税が今や上から4番目になり、滞納が1割を超えていることも明らかになりました。しかし、後期高齢者医療保険料の値上げとともに、日本共産党以外の賛成で可決されました。

モデルケース
所得260万円



(夫43歳、妻41歳、小学生1人)

改定前……471,800円/年
改定後
……494,900円/年
(23,100円増)

2018年の比較では
129,100円増

日本共産党
町田市議団ニュース

2026年5・6月号

発行●日本共産党町田市議団
町田市森野2-2-22

電話●042-724-4030
FAX●042-724-4042
メール●jcp.machida.shigidan@gmail.com

日本共産党町田市議団

検索